



とういち かいんど

東1 KIND の議事概要

日 時：令和4年1月7日（金）13：30～15：20

場 所：中央公民館 2階 講義室 参加者：16名

(1)「東1 KIND おたすけ隊」実施に向けて

①名称の再検討

「東1 KIND おたすけ隊」という名称について、意見交換を行った結果、次の意見が出ました。

○「助ける」「支える」は、分かりやすいが、「助けてやる」「支えてやる」という感じがして、押し付けがましい

○「生活支援」は、お役所的で、生活保護をイメージさせる。

協議した結果、「東1」を削除し、「KIND」は、高齢者にも読めるようひらがなに変更して「かいんど」とし、活動を説明する言葉、例えば、「地域ボランティア」、「住民参加型ボランティア」を付け加えることになりましたが、結論は、次回に持ち越し。

②活動員募集のチラシ

生活支援コーディネーターが作成した活動員募集チラシをどのようにアレンジするかを協議した結果、次のように取り扱うことになりました。

○裏面の登録申込書を削除し、裏面に愛称の「KIND」の由来、「有償」の意味、東1 KIND が有償ボランティア活動を始めようとする経緯などを説明する。

○登録申込書を削除する代わりに、表面に「氏名」「住所」「電話番号」などの基本情報を記入する欄を設ける。

○チラシの配布は、町内会に依頼し、全会員宅に配布する。無料で折り込みをしてくれる読売新聞にも協力を要請する。

○次回までチラシの原稿を作成し、再度協議する。

③提供するサービス内容

提供するサービス内容については、これまで協議体で検討してきた次の3つを基本とします。

○ゴミ出し（分別・ゴミ当番を含む）

○買い物代行

○通院診察の順番取り（診察券の受付代行）

なお、活動員が集まった段階で、提供するサービス内容を再検討することを確認。

(2)「1人暮らしの高齢者が急病で倒れ、入院したとき」について

「令和3年度ひとり暮らし等高齢者世帯等集計結果」、「見守りに関して市が実施している主なサービス」を資料に基づき説明した上で、意見交換を行った結果、次のように取り扱うことになりました。

○「高齢者をささえるやさしい手」ダイジェスト版の配布については、生活支援コーディネーターが福祉政策課に持ち帰って検討し、実施できるように努力する。

○緊急カードの大量配布は、危機管理課に問い合わせ、次回報告。

○民生委員の高齢者宅訪問調査の復活については、東一地区だけの問題でなく、市全域にかかわることで、第1層協議体で検討すべき課題であるので、第1層に提案する。

(3) その他（第1層協議体の報告）

生活支援体制整備事業の愛称を公募。応募する場合、協議体終了後に提出するか、次回の協議体に持参するかしてほしい。FAX送信も可。 以上